

「新型コロナウイルス」感染拡大に対するリスク管理 やり過ぎとの声もあるが

全国の小中高校がいよいよ明日から臨時休校となる。また、政府は（安部首相は）ここ2週間は感染拡大の防止に全力を尽くす決意を、再度、昨日の夕方に表示した。

この表明にいたるまでにも、そこまでやらなくても、との声も多かったようだ。たとえば、

「影響が大きすぎる」文科省も公明党も必死で止めたのに安倍首相が強行！小中高校「全国一斉休校」の大混乱 J-CAST テレビウォッチ 2020年2月28日

安倍首相がぶち上げた「小中高校の臨時休校」要請で、教育現場はもちろん、企業や共働き家庭などに大きな混乱が起きている。なぜこのタイミングだったのか。ある与党幹部は「北海道などが休校を打ち出して、評判が良かったから味をしめたみたいだ」と話す。

文部科学省も公明党も「影響が大きすぎる」と必死で止めたが、官邸主導で決められてしまったという。自民党内からも反対の声は強く、元厚労相も「共働きの家庭の支援なども同時に打ち出さないと、日本全国が大混乱になる」と批判する。

日本経済新聞 2020.3.1

- 首相記者会見のポイント**
- ・休校要請は「断腸の思い」「判断に時間をかけるいとまはなかった」
  - ・休職する保護者に新助成金
  - ・予備費を使い、第2弾緊急策を10日程度で策定
  - ・世界経済のリスクに「必要かつ十分な経済財政政策」
  - ・医者が必要と考える全患者にPCR検査ができる体制整備
  - ・新型コロナ対策の法整備へ野党に協力を要請
  - ・「政治は結果責任。逃れるつもりは毛頭ない」

安倍首相は29日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて首相官邸で記者会見した。2019年度予算の予備費2700億円超の一部を使い、第2弾の緊急対応策を10日程度でまとめることを表明した。ウイルス検査体制に関しては「かかりた総額153億円の第1

# 首相「上旬にも追加策」

## 医師判断で全患者検査

### 新型コロナ

弾に続く措置だ。首相は「整助成金を活用し、特別一環の課題に万全の対応をとる」と述べた。全一律で要請した小学校などの臨時休校にあわせ「児童保育で春休みと同様の対応を取るなど、各自治体の取り組みを全力で支援する」と説明した。子ども在宅に伴い休職する保護者向けに「所得の減少にも助成金制度を創設し、正規、非正規を問わずしっかり手当をする」と強調した。

第1弾の対策では観光業を中心に中小企業支援を盛り込んでいた。第2弾では製造業などにも対象を広げる。首相は「業種を限ることなく雇用調

すべきだと判断した」と話した。急な休校要請に関しては「万が一にも学校で集団感染を起してはならない。判断に時間をかけているいとまはなかった」と釈明した。

トイレットペーパーなど日用品を買いだめする動きには「事実ではない。うわさが飛び回っている。十分な供給量があるので冷静な購買活動をお願いしたい」と要請した。

首相は「国民の命と暮らしを守る大きな責任を果たすため先頭に立って決断していく」と表明した。「政治は結果責任だ」と言ってきた。逃れるつもりはない」と強調した。

